

第3回高齢者医療臨床研修会 「在宅高齢者などに対する歯科治療のリスク管理」開催報告

研修委員会幹事 潮田高志

第3回高齢者医療臨床研修会が東京支部、神奈川支部、埼玉支部、千葉支部との共催、また東京都歯科医師会、神奈川県歯科医師会、埼玉県歯科医師会、千葉県歯科医師会の後援を受け、2017年12月10日(日)「ベルサール神保町アネックス」にて開催されました。

第1回、第2回のテーマは「高齢者の服用薬からわかること、モニタリングからわかること」とし、主に全身管理の概論を中心とした内容でしたが、今回からはより各論に近い内容として「在宅高齢者などに対する歯科治療のリスク管理～地域の新たなかかりつけ歯科医を目指して～」をテーマとし、原土井病院みどりのクリニック長尾哲彦先生から「身体所見から読み解く高齢者の健康状態」、昭和大学医学部麻酔科学講座 岡 秀一郎先生から「在宅高齢者訪問歯科診療におけるリスク管理と緊急対応」、九州歯科大学口腔保健・健康長寿推進センター大渡凡人先生から「全身的偶発症症例から学ぶ有病高齢者のリスクマネジメント」の3演題をそれぞれご講演いただきました。

当日は羽村 章東京支部長、那須都夫千葉支部長にご参加、ご挨拶いただき講演が始まりました。各演題ともに全身評価や治療中のマネジメント、有事の対処法など具体的な事例とともに少し踏み込んだ内容でありましたが、3つの内容はリンクしていることから非常にわかりやすい構成となっていました。今回も質疑応答は全講演終了後にパネルディスカッション形式で行われました。会場からは多くの質問が挙がり、それに対して演者の先生方からわかりやすい回答をいただき、時間を超過するほど白熱した質疑応答が繰り広げられていました。また、講演終了後も各演者に個別質問を行っている参加者が多

数みられ、非常に有意義な研修会となりました。

今回の参加者は130名で、関東を中心とした近県からが大多数でしたが、遠方からの参加もいただきました。参加者の職種は歯科医師、歯科衛生士が多く、訪問歯科診療に携わる先生方の参加も多数見受けられました。超高齢社会のなかで訪問歯科診療の重要性がさらに増している昨今、われわれ歯科医師、歯科衛生士は真摯な姿勢でこれを履行しなくてはならず、本研修会での参加者の姿勢は高水準の医療を安全に提供しようという意識の高さを強く表すものでした。

今後は第4回として、3月に同内容の研修会を福岡で開催する予定となっております。すでに多くの参加申し込みをいただいております。第3回を終え、本研修会が多くの先生方に向けて情報発信ができていることを認識できたとともに、歯科医療に従事する多くの方が今後の超高齢社会での歯科医療の在り方をどうすべきかについて真剣に取り組んでいることを確信する結果となりました。



白熱した質疑応答の様子